

公益社団法人日本口腔インプラント学会
口腔インプラント治療における歯科衛生士業務指針

【趣旨】

公益社団法人日本口腔インプラント学会（以下、「本学会」という。）は、口腔インプラント治療（以下、「インプラント治療」という。）における歯科衛生士の業務に係る事項について、以下のように指針を定める。

また、本指針に定める歯科衛生士の業務は、インプラント治療に精通した歯科医師の指導もしくは指示の下に、本学会認定「インプラント専門歯科衛生士」もしくはインプラント治療の診療補助に従事した経験があり、かつ適切な研修を受けた歯科衛生士が行うことを前提とする。

なお、本指針の別表として、インプラント治療の診療補助を行う歯科衛生士の歯科医学的知識と診療技能レベルを3段階に区分し、一般的に歯科衛生士が行うことが想定される行為の各項目における診療補助業務の適否について例示する。

I インプラント埋入手術前の診療補助業務

*一般的に歯科衛生士が行うことが想定される行為

- 1) インプラント治療の概要について説明を行う。
- 2) 医療面接により患者の全身状態・既往歴などを聴取する。
- 3) 血液学的検査のための採血を行う。
- 4) 口腔内写真の撮影を行う。
- 5) エックス線写真撮影またはCT撮影のための準備および患者の誘導などを行う。
- 6) スタディモデル作製のための印象採得を行う。
- 7) 手術前の注意事項について説明する。
- 8) 治療計画に基づきインプラント器材を発注する。
- 9) 清潔域の介助を行う。

*一般的に歯科医師が行うべき行為

- 1) インプラント埋入部の歯槽粘膜・歯槽骨の状態を診査する。
- 2) インプラント治療の適応について診断する。
- 3) インプラント治療に係るインフォームド・コンセントに基づき、同意書を取得する。
- 4) サージカルガイドの設計及び作製

II インプラント埋入手術に係る診療補助業務

*一般的に歯科衛生士が行うことが想定される行為

- 1) 埋入手術に必要な機器の動作確認を行う。
- 2) 埋入手術のための器具・器材を準備する。
- 3) 患者に血圧計などのモニタリング機器を装着する。

- 4) 静脈内鎮静法もしくは点滴の介助を行う。
- 5) 術前に口腔内・外を消毒する。
- 6) サージカルガイドを試適する。
- 7) インプラント関連器材のパッケージを開封する。
- 8) カバースクリュー（封鎖スクリュー）を準備する。
- 9) 埋入手術後に器材の洗浄・滅菌を行う。
- 10) 埋入手術後に使用した機器の動作確認を行う。
- 11) 手術後の注意事項について説明する。
- 12) 抜糸後にインプラント埋入部の清掃指導を行う。

*一般的に歯科医師が行うべき行為

- 1) 局所麻酔（表面麻酔を含む）を行う。
- 2) 静脈内鎮静法を行う。
- 3) 切開・剥離・縫合・抜糸等の外科処置を行う。
- 4) インプラントを埋入する。
- 5) インプラントにカバースクリューを装着する。
- 6) インプラントにヒーリングアバットメントを装着する。

Ⅲインプラント補綴処置に係る診療補助業務

*一般的に歯科衛生士が行うことが想定される行為

- 1) 印象用トレーを口腔内に試適し、調整の必要性を歯科医師に報告する。
- 2) 暫間上部構造の着脱を行う。
- 3) 上部構造作製のための印象採得を介助する。
- 4) 上部構造作製のための咬合採得を介助する。
- 5) 上部構造の清掃性について、歯科医師・歯科技工士と検討する。
- 6) カバースクリューやアバットメントの着脱の準備および介助を行う。
- 7) 印象用コーピング装着の介助を行う。
- 8) 上部構造装着後のセメントを除去する。

*一般的に歯科医師が行うべき行為

- 1) アバットメントをインプラント体に連結する。
- 2) ボールアタッチメントもしくはバーアタッチメントを連結する。
- 3) 上部構造作製のための印象採得を行う。
- 4) 上部構造作製のための咬合採得を行う。
- 5) 上部構造もしくはメタルフレームを試適する。
- 6) 上部構造を装着する。
- 7) 上部構造の咬合調整を行う。

IV メンテナンスに係る診療補助業務

*一般的に歯科衛生士が行うことが想定される行為

- 1) インプラント上部構造装着後、口腔衛生指導を行う。
- 2) インプラント周囲粘膜の清掃指導を行う。
- 3) インプラント周囲溝（ポケット）のプロービングを行う。
- 4) インプラント周囲溝（ポケット）からの出血と排膿を検査する。
- 5) インプラント周囲粘膜の状態を歯科医師に報告する。
- 6) 上部構造の緩みや脱離を検査する。
- 7) 上部構造のアクセスホールの変封材除去および充填を行う。
- 8) インプラント周囲溝（ポケット）を洗浄する。
- 9) インプラント表面のプラークもしくは歯石を除去する。
- 10) インプラント周囲炎について説明する。

*一般的に歯科医師が行うべき行為

- 1) インプラント部のエックス線写真を撮影する。
- 2) インプラント部の咬合状態を診査する。
- 3) インプラント部の咬合調整を行う。
- 4) 汚染インプラント表面のデブライドメントを行う。（注1）
- 5) 上部構造の着脱を行う。
- 6) アバットメントもしくはインプラントを撤去する。

（注1） インプラント表面に強固に付着した歯石や異物を除去する行為であり、インプラントの表面形状や性状に変化を与える可能性のある行為。

公益社団法人日本口腔インプラント学会
口腔インプラント治療における歯科衛生士業務の指針一別表一

口腔インプラント治療における一般的に歯科衛生士が行う
ことが想定される行為と歯科衛生士の診療技能区分（案）

【歯科衛生士の診療技能区分】

区分A：本学会認定「インプラント専門歯科衛生士」資格取得者

区分B：インプラント治療の診療補助（メンテナンスを含む）の経験年数が3年を超え、
インプラント治療に関する研修を受けた者

区分C：インプラント治療の診療補助（メンテナンスを含む）の経験年数が3年未満で、
インプラント治療に関する研修を受けた者

○：可能

△：状況によっては可能

×：慎重に行うべきである

一般的に歯科衛生士が行うことが想定される行為	歯科衛生士の診療技能区分と適否		
	A	B	C
I インプラント埋入手術前の診療補助業務			
1) インプラント治療の概要について説明を行う。	○	△	×
2) 医療面接により患者の全身状態・既往歴などを聴取する。	○	○	△
3) 血液学的検査のための採血を行う。	△	△	△
4) 術前口腔内写真の撮影を行う。	○	○	○
5) エックス線写真撮影または CT 撮影のための準備および患者の誘導などを行う。	○	○	△
6) スタディモデル作製のための印象採得を行う。	○	○	○
7) 手術前の注意事項について説明する。	○	○	△
8) 治療計画に基づきインプラント器材を発注する。	○	○	△
9) 清潔域の介助を行う。	○	△	△
II インプラント埋入手術に係る診療補助業務			
1) 埋入手術に必要な機器の動作確認を行う。	○	○	△
2) 埋入手術のための器具・器材を準備する。	○	○	△
3) 患者に血圧計などのモニタリング機器を装着する。	○	○	○
4) 静脈内鎮静法もしくは点滴の介助を行う。	○	○	△
5) 術前に口腔内・外を消毒する。	○	○	△
6) サージカルガイドを試適する。	△	×	×

7)	インプラント関連器材のパッケージを開封する。	○	○	△
8)	カバースクリュー（封鎖スクリュー）を準備する。	○	△	△
9)	埋入手術後に器材の洗浄・滅菌を行う。	○	○	△
10)	埋入手術後に使用した機器の動作確認を行う。	○	△	△
11)	手術後の注意事項について説明する。	○	△	△
12)	抜糸後にインプラント埋入部の清掃指導を行う。	○	△	×
Ⅲインプラント補綴処置に係る診療補助業務		A	B	C
1)	印象用トレーを口腔内に試適し、調整の必要性を歯科医師に報告する。	○	△	×
2)	暫間上部構造の着脱を行う。	○	△	×
3)	上部構造作製のための印象採得を介助する。	○	○	△
4)	上部構造作製のための咬合採得を介助する。	○	○	△
5)	上部構造の清掃性について、歯科医師・歯科技工士と検討する。	○	○	△
6)	カバースクリューやアバットメントの着脱の準備および介助を行う。	○	△	×
7)	印象用コーピングを装着の介助を行う。	○	△	×
8)	上部構造装着後のセメントを除去する。	○	△	×
Ⅳメンテナンスに係る診療補助業務		A	B	C
1)	インプラント上部構造装着後、口腔衛生指導を行う。	○	○	△
2)	インプラント周囲粘膜の清掃指導を行う。	○	△	×
3)	インプラント周囲溝（ポケット）のプロービングを行う。	○	△	×
4)	インプラント周囲溝（ポケット）からの出血と排膿を検査する。	○	△	×
5)	インプラント周囲粘膜の状態を歯科医師に報告する。	○	△	×
6)	上部構造の緩みや脱離を検査する。	○	△	×
7)	上部構造アクセスホール仮封材除去および充填を行う。	○	△	×
8)	インプラント周囲溝（ポケット）を洗浄する。	○	△	×
9)	インプラント表面のプラークもしくは歯石を除去する。	○	△	×
10)	インプラント周囲炎について説明する。	○	△	×